



いずみさの

No.198  
2026.2.1

# 市議会だより



## New Topics

令和7年度泉佐野市一般会計  
補正予算(第7号)を可決しました

## 目次

- ◆ 議会活動報告 ..... 2~5
- ◆ 12月定例会の結果報告 ..... 5~7
- ◆ 一般質問 ..... 7~11
- ◆ ご案内 ..... 12

本会議・委員会をインターネットで配信しています。

泉佐野市議会

検索



## 教育委員会との意見交換会

11月25日

11月25日、「こどもの教育環境について」および「教諭の就労環境について」をテーマに教育委員会との意見交換会を行いました。

不登校、ヤングケアラー、土曜授業等について、双方が対等な立場で課題を共有し、今後の教育行政の方向性をともに考える大切な機会となりました。

その中で共有された課題解決のキーワードは、「地域」でした。行政と議会が、地域と学校のつながりづくりに向けて連携していく必要性が確認されました。



## 総務産業委員会 管外視察

10月28日・29日

鹿児島県薩摩川内市と鹿児島市への視察を行いました。

### 10月28日 薩摩川内市、中越パルプ工業株式会社

薩摩川内市は、太陽光、風力、バイオマス、小水力など多様な発電設備の導入を積極的に展開しています。また市民に対する理解向上・普及啓発として、市内小中学校での出前授業や地元ラジオ放送局を活用した積極的な普及活動をしていました。同市にある中越パルプ工業株式会社川内工場では、間伐材や未利用材を利用した木質バイオマス発電設備があり、約43,000世帯へ供給できる発電能力を備えています。工場の視察によって構造的・技術的な理解を深めました。

本市においてもエネルギー源の多様化を図り、地域全体での取り組みを図る必要性を強く認識しました。



### 10月29日 鹿児島市

鹿児島市にある観光農業公園内の体験学習ゾーン(農産物直売所、農園レストラン、環境学習棟、体験農地など)、地域交流ゾーン(滞在型市民農園など)、民間参画ゾーン(民間参画農場など)を視察しました。

環境学習棟では黒豚の飼育状況や、食品残渣を堆肥化する機械を見学し、公園内の農業とリサイクルの循環システムを確認しました。また、地域食材にこだわった農園レストランや滞在型市民農園などは収益性・集客力が高く、将来、本市の観光農園型の施設展開においても非常に参考になると感じました。

## 総務産業委員会 管内視察

10月7日

市内の稲倉池近く(日根野7267番地)にある株式会社ダストライを視察しました。

こちらの施設では、食品廃棄物を活用し、バイオガスによる発電及び温熱を利用した農作物の栽培、発電過程から発生する残渣を堆肥として活用するなどしています。発電量は一般家庭60~80世帯の一年分相当と、まだ規模は小さいですが、循環型社会の構築と地域農業の活性化に期待できるものだと感じました。



北海道北広島市と石狩市への視察を行いました。

## 10月14日 北広島市

北広島市では、学校での不登校対策の充実を図り、欠席を長期化させない魅力ある学校教育(自己調整学習)を推進されています。学校に通うことが出来ない児童生徒が社会的に自立できるよう支援する教育支援センター「みらい塾」では、学習支援のほか、体育活動や体験活動(野菜作り、遠足など)も行われ、自分のペースで過ごせる「居場所」、個々が抱える悩みや不安への「相談支援」を実施されています。また、児童活動センター「さとっぴ〜」は、家庭にいろいろな子どもや学校での対人関係が苦手な子どもなどが日中通うことができる施設として設置されています。本市でも不登校児童生徒が増加しており、児童が安心できる「居場所」づくりと、様々な学びの機会を提供できる体制を構築し、学校、保護者、教育委員会、地域等との連携、人と人のつながりが重要であると認識しました。



## 10月15日 石狩市

石狩市は、平成26年12月に手話基本条例を制定されました。手話は言語であることの意味を理解するための普及啓発活動を始め、市職員全員を対象とした手話研修会や、市内スーパーや道の駅、ホテルでの事業者向けの手話研修会を実施しており、小中学校における手話出前授業も行われています。本市でも、令和4年12月に「手話言語条例」が制定され、各小中学校で手話学習を実施しやすい枠組みに変更したり、啓蒙パンフレットを作成するなどの取り組みを実施しています。しかし、市民の方への手話に関する認知度はまだまだ低い現状にあり、今後も「推進施策」の継続と拡充に取り組み、特に教育現場での手話学習や市民への普及啓蒙活動に力を入れていただきたいと感じました。

# 大韓民国大邱広域市寿城区議会議員団

## 表敬訪問

10月27日

大韓民国大邱広域市寿城区議会議員団の皆様が、初めて本市に来訪されました。寿城区は、韓国南部に位置し、韓方や美容観光、グローバル教育が盛んなまちです。

寿城区と泉佐野市は、2023年7月に友好提携都市を締結し、青少年の学生交流や野球・サッカーのスポーツ交流、イヌナキンとトゥビーのキャラクター交流等様々な分野で交流を深めています。

表敬訪問後に行われた意見交換会では、両都市の文化や政策、財政に関すること等話題が多岐にわたり、活発な意見交換が行われました。

泉佐野市議会としては、初となる国外議会の受け入れを行うにあたり、本市を代表する和紙人形と絵手紙、日本を代表する茶道と書道を用いた交流会を企画し、両議会の親交の深化に努めました。



## りんくう総合医療センター対策委員会 視察

12月9日

12月9日、「りんくう総合医療センター」を視察いたしました。  
「感染症センター」及び「ヘリポート(災害拠点病院関連施設)」を視察した後、意見交換会を実施しました。  
「感染症センター」は、全国に4箇所ある高度な感染症対策が施されている施設であり、各地からも視察に訪れています。意見交換会での話題は多岐に渡り、活発な意見交換が行われました。



## 関空りんくうまちづくり特別委員会視察

12月10日

12月10日、関空りんくうまちづくり特別委員会委員ほか市議会議員及び関係市職員が参加して、「コスモ石油株式会社 堺製油所内 合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY(SAF製造装置)」を視察いたしました。  
SAF (Sustainable Aviation Fuel) は、持続可能な航空燃料のことであり、廃食用油を原料としています。本視察では、廃食用油の回収方法からSAFの製造、そしてジェット燃料の供給に至るまでの説明を受けた後、さまざまな質疑応答が行われました。



## 手話研修会

10月8日

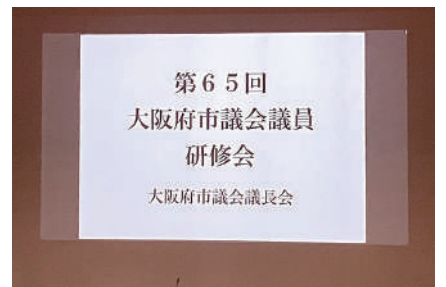
泉佐野市聴言障害者部会 里井 厚子 様 を講師にお迎えし、手話研修会を開催しました。日常での挨拶などの手話を学び、手話は言語であることを再認識いたしました。その後、意見交換会では、聴覚障がいをお持ちの方が日常生活で困っていることなどについてご意見をいただきました。



## 議員研修会①

11月18日

11月18日、大阪大学特任教授兼社会医療法人大阪国際メディカル&サイエンセンター理事長兼大阪けいさつ病院院長の 澤 芳樹 氏を講師に迎え、「医学のレジリエンス～みらいへの挑戦と貢献～」をテーマに第65回大阪府市議会議長会議員研修会が開かれました。



## 議員研修会② (行財政委員会)

11月19日

11月19日、本市の河野政策監兼市長公室長を講師に迎え、「決算カードと財政推移の見方について」をテーマに研修会が開かれました。



## 議会による行政評価

10月2日

議会による行政評価は、適正な行政運営の確保に努めることを目的に、市が実施している政策、施策、事務事業等について、有効性、効率性、必要性等の観点から評価をします。

令和7年度は、行財政委員会で選定した施策「地域で自分らしく暮らすための支援」について委員全員の評価と意見を取りまとめ、10月2日に市長へ評価結果を提出しました。



## こども議会報告

11月17日

令和7年8月3日に開催した「第7回みらい泉佐野こども議会」では4組9名の児童・生徒が参加され、有意義で活発な議会となりました。その結果を取りまとめ、市長と教育長に報告しました。今後も泉佐野市の子どもたちにより良い体験の機会を作ることができるよう、話し合いをさせていただきます。



# 12月定例会を開催

議案  
第82号

令和7年度泉佐野市一般会計  
補正予算(第7号)

可決  
全会一致

議案第82号 令和7年度泉佐野市一般会計補正予算(第7号)の一部

○「泉佐野丘陵東地区土地区画整理工事費」債務負担行為限度額 8,600,000千円

旧泉佐野コスモポリス用地の未整備部分を産業集積用地化する整備を行うため、包括委託方式という事業スキームにより民間活力を導入し、事業者の資金調達をもって本事業を進める予定でしたが、事業予定者より資金調達が困難となった旨の申し出があり、本市が造成工事を実施することになったことから令和7年度から11年度にかけて予算化するもの。

○市庁舎庭園移設工事費の債務負担行為の廃止 △21,000千円

市庁舎周辺整備事業の減額 △14,000千円

泉佐野丘陵東地区土地区画整理工事の市負担発生を受け、市庁舎周辺整備事業(みらい安心センター)の施工時期を先送りするために廃止するもの。



議案  
第78号

地方独立行政法人りんくう総合医療  
センターの第4期中期目標の  
策定について

可決  
全会一致

第4期中期目標においては、経営効率化と併せて、「公立病院経営強化ガイドライン」が示す新たな課題への取り組みを推進することを明記し、経営強化プランを反映した中期計画を策定した上で、健全な病院経営を目指すことをりんくう総合医療センターに求めるものです。「第5 その他業務運営に関する重要事項」の1つとしまして、「望まない妊娠をした女性とその子どもへの支援について」を新たに追加。これは市が実施する、「(仮称)赤ちゃんのゆりかご」、いわゆる「赤ちゃんポスト」の設置及び内密出産を希望する妊産婦の受け入れ等について、すべての妊産婦及び乳児が、誰一人取り残されず、安心して医療及び生きる権利を享受できる体制の構築に取り組むよう、求めています。本議案について全会一致で可決されました。

## 議決結果一覧表

### 全会一致で可決された案件

議案番号	案 件
議案第66号	泉佐野市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例制定について
議案第67号	泉佐野市事務分掌条例の一部を改正する条例制定について
議案第68号	泉佐野市手数料条例の一部を改正する条例制定について
議案第69号	財産の取得について
議案第70号	土地明渡(自動車撤去)請求事件の訴えの提起について
議案第71号	泉佐野市企業誘致条例の一部を改正する条例制定について
議案第72号	泉佐野市における滞在の促進及び受入環境の整備に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第73号	泉佐野市土地開発公社の解散について
議案第74号	損害賠償の額を定めること及び和解について
議案第75号	泉佐野丘陵緑地の指定管理者の指定について
議案第76号	泉佐野市公園条例の一部を改正する条例制定について
議案第77号	泉佐野市の議会議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例及び泉佐野市の議会議員及び長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第79号	泉佐野市教育行政基本条例の一部を改正する条例制定について
議案第80号	泉佐野市奨学金基金条例の一部を改正する条例制定について
議案第81号	泉佐野市立中央図書館の指定管理者の指定について
議案第82号	令和7年度泉佐野市一般会計補正予算(第7号)
議案第83号	令和7年度泉佐野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
議案第84号	令和7年度泉佐野市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
議案第85号	令和7年度泉佐野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)

議案番号	案 件
議案第86号	令和7年度泉佐野市病院事業債管理特別会計補正予算(第1号)
議案第87号	特別職の職員で常勤のものの給与についての条例の一部を改正する条例制定について
議案第89号	職員の給与についての条例等の一部を改正する条例制定について
議案第90号	令和7年度泉佐野市一般会計補正予算(第8号)
議員発議第16号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等についての条例の特例に関する条例制定について
議員発議第17号	脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書の提出について
議員発議第18号	危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援を求める意見書の提出について
議員発議第19号	重点支援地方交付金の拡充と地方自治体への迅速かつ丁寧な支援を求める意見書の提出について
議員発議第20号	地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について

議案第78号は6ページをご覧ください。

### 表決が分かれた案件

議案番号	案 件	結果
議案第88号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等についての条例の一部を改正する条例制定について	可決
議員発議第21号	中国駐大阪総領事による不適切な発言を非難し謝罪を求める決議について	可決

### 議案の賛否 表決が分かれた案件の賛否一覧です

議員名 議案名	新緑未来		正道の会	チーム泉佐野創生			大阪維新の会				再生市民の会	自民党		公明党			
	中藤大助	布田拓也	中村慎作	向江英雄	大和屋貴彦 議長	野口新一	新田輝彦	日根野谷和人	射手矢真之 副議長	峰浦修平	中庄谷栄孝	西野辰也	高橋圭子	岡田昌司	辻中隆	大庭聖一	松村正秀
議案第88号	○	○	×	○	—	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議員発議第21号	○	○	×	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は賛否同数のときのみ表決し、議案の可否を決定します。 ○：賛成、×：反対

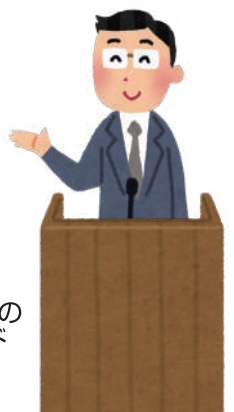
## 一般質問

議員が市の一般事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問します。泉佐野市議会では、議員一人あたりの質問時間は答弁を含めて30分で、会派を代表して行う代表質問は所属議員の人数分の時間を使うことができます。

各議員の一般質問の内容は、本会議での発言を要約しています。質問の全内容は、泉佐野市議会ホームページの「議会ライブ中継・録画配信」、または「会議録検索」(2月末日配信予定)をご覧ください。



◀ 議会中継のQRコード



公明党  
泉佐野市会議員団 代表  
辻中 隆 議員



## 資産運用による財源創出について

**Q** 衆議院予算委員会で、公明党の岡本政調会長が、国会の場で、高市総理並びに片山財務大臣に、国の資産に関する新たな財源創出の提案をしました。市の資産を有効活用して更なる安定した財源創出のための提案をします。担当課の考えは。

**A** ご提案いただきましたジャパンファンドの創設につきましてはGPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）がこれまで自主運用してきた24年間で、年率4.51%の収益率、180兆円の累積運用収益をあげてきたノウハウを活用することなどから、リスクを最小化し、安全性を担保したうえで効率的に運用しているもので非常に注目しているところであります。今後の動向に注目し、制度設計が進んでくれば、当市でもどのような活用が可能なのかを含め研究してまいります。

## 防災訓練について

**Q** 十一月の防災訓練。折角この日の為に休みを取ったのに、マン

- ・資産運用について
- ・障がい者支援について
- ・教育について
- ・人材確保について
- ・防災について
- ・自転車の交通安全対策について

ホールトイレを組み立てることもなく残念であった。改善すべきだ。

**A** 末広公園ではマンホールトイレの設置訓練を行う自主防災組織もありました。機材の設置を行うことは非常に有効な訓練ですので、自主防災組織と連携して設置訓練を行い、併せて設置や使用方法の映像化なども進めていきたいと考えています。



## 交通マナー周知の広報について

**Q** 常日頃自転車者を利用されている方からの相談です。明年4月からの新制度の周知広報について。

**A** 来年4月から新たに自転車の違反に対して交通反則通告制度が導入されます。違反の内容によりますが3,000円から12,000円の反則金が課せられます。新制度及び交通マナーの周知につきまして、警察署と連携を図りながらポスターの掲示や市のホームページ、広報誌でのお知らせなどで広く周知を図ってまいります。

## 災害支援用バンダナ導入について

**Q** 石狩市の視察から、障がい者支援について大変参考になった。災害支援用バンダナの導入を提案します。

**A** 石狩市手話防災バンダナは、「耳が聞こえません」などの文字と耳マークや手話マークがプリントされておりその人が聴覚障がい者であるか、手話での意思疎通ができるかを周囲の人から判断できるようになっており、災害などの緊急時の支援につながる事が期待されています。本市におきましても先進事例を参考にしながら実施方法を検討してまいります。

## 字幕表示システム導入について

**Q** 耳の聞こえない人や外国人が市役所でスムーズに手続きできるように装置の設置の提案をします。

**A** 字幕表示システム導入につきましては、音声認識の精度、専門用語や固有名詞への対応、多言語表示の可能性など、機画面やコスト面で比較しながら、試行的な活用も含めて検討してまいります。

大阪維新の会  
泉佐野市会議員団 代表  
新田 輝彦 議員



## 教科書について

**Q** 脳科学を研究されている東北大学の川島教授は学習においては紙媒体の方が良いと提言しています。特に、スマートフォンやタブレットを使った学習は脳の発達に悪影響を及ぼす可能性があると指摘しています。現状のデジタル教科書の考え方を教えてください。

**A** 学習者用デジタル教科書は、原則として文部科学省の検定を受けた、紙の教科書の内容と同一のものが求められます。デジタルならではの拡大や音声読み上げ、容易に書き込みや消すことができたり、失敗を恐れず何度も問題解決にチャレンジできるというメリットがある一方、集中力や視力等の健康面への影響を懸念する声もあります。紙かデジタルかどちらかに限定するのではなくハイブリッド的に活用し、児童生徒の発達段階や教科の特性、単元や学習場面に応じて適切な方法で学習できることで個別最適な学びと協働的な学び一体的に充実させ、教育の質の向上に繋がると考えております。

- ・教育について
- ・観光について
- ・防災について
- ・住宅について

国際ビジネス促進業務について

本市内のホテルの現状について

**Q** 関西国際空港の玄関都市として本市には多くのインバウンドが訪れています。コロナ禍蔓延で一時期のホテル需要は厳しいものがありました。上がっているように仄聞します。本市内のホテルの現状どの様になっていますか？

**A** 令和7年11月30日時点で宿泊施設数100施設、客室数約4,800室となっています。コロナ禍前の令和元年度と比べると、宿泊施設数では35施設、客室数では約1,200以上増加しています。増加の主な要因としては、ビジネスホテルやシティホテルなどが南海泉佐野駅やりんくうタウン駅周辺に開業されたことや、外国人観光客のニーズに応じた多様な宿泊形態の簡易宿所営業施設が観光需要の回復を見越し、増加したことによるものと考えられます。引き続き、関西国際空港の立地特性を最大限に生かし、観光する施策を推進してまいります。

国際ビジネス促進業務について

**Q** 海外市場を開拓したくても中小零細企業ではそのノウハウや財力に乏しく成すすべもない状況でした。そんな中、海外市場進出の道を付けていただける業務が立ち上がったこと大いに期待していると伺います。その目的と現状の進行状況を教えてください。

**A** 国際ビジネス促進業務は、市内企業が安定的に海外バイヤーとの接点を持ち、持続可能な販路開拓を実現することを目的としています。今年12月に2回、オンライン及び商工会議所での対面による説明会を開催させていただき、現在合計10社に促進業務の参加を検討していただいております。海外展開に際しては、現地の市場情報や商習慣の理解が不可欠ですので、現地に精通したパートナーとの連携を通じて、企業が「生の声」を得られる機会を提供し、複雑化する海外市場に対応できるよう支援いたします。



空き家の現状について

**Q** 11月8日に大分市佐賀関で大規模火災が発生しました。佐賀関は古くからの漁村であり老朽化した建物や空き家も多く、また道幅も狭く火災が広がったと言われています。本市の空き家の現状とその対策そして防災に関する取り組みについて教えてください。

**A** 現在「空き家等対策の基本的な考え方と方針」に沿った取り組みをしております。実態調査では空き家の総戸数としては減少傾向ですが、危険度の高い空き家は増加傾向にあることから取り組みを強化してまいります。また防災に関しては、「その町場」と呼ばれる旧市街地で、現在、泉佐野土丸線の整備を進めており、道路周辺地域においては、緊急車両のアクセス性の向上や用途地域の見直しによる「防火性能」の向上が期待できます。今後も、空き家対策と都市基盤整備の双方を着実に進め安全なまちづくりに取り組んでまいります。



自由民主党  
泉佐野市議員団 代表  
西野 辰也 議員



猫対策について

**Q** 不妊去勢手術への助成金制度だけでなく、三者（地域住民グループ・ボランティア・行政）が協働し地域住民グループへ予算の配分など行う事により、住民が主体となった猫対策を行ったらどうか。

**A** 三者が共同して地域猫活動を進めていくにはそれぞれが果たすべき役割を理解し、それに基づいて行動することが重要です。地域住民の方々は、地域猫活動に理解を示していたでいる方ばかりでないという状況があります。このため、丁寧な説明と対話により、地域住民の方々のご理解とご協力が得られるよう取り組みを進めるとともに、他市事例なども参考にしながら地域猫活動の推進に努めてまいります。また活動の支援としまして、来年度から捕獲機の無償譲渡、忌避剤のサンプル配布を行う予定にしております。



- ・入札制度について
- ・猫対策について
- ・未来の農業について
- ・一次避難所について

## 一次避難所について

**Q** 災害発生時に、高齢者の避難を考えた場合、一次避難所として町会館や自治会館が適切であると考える。しかし、耐震化・老朽化などの問題が懸念されるが、市は、この問題をどの様に考えていますか。

**A** 町会館や自治会館の多くは、旧耐震基準で建築されたと思われる施設が多く、耐震性能が十分でない可能性があります。このような施設につきましては早期に耐震診断を受けていただき、耐震補強工事が必要になった場合には、「町会館等施設整備事業費補助金」を活用していただき、また一次避難所としての機能向上を図るため、段差の解消やトイレの洋式化など施設のバリアフリー化についても併せて検討いただきたいと考えております。これらの整備につぎましては今後とも、地域住民の皆様と協働して進めてまいりたいと考えています。



チーム泉佐野創生 代表  
**野口 新一** 議員



## 要介護認定の審査手続きについて

**Q** 再審査の手続きについて、区分変更になった方の割合は？また、認定調査で重要なことをお伺いします。

**A** 介護申請及び区分変更申請は、心身の状態の変化により介護度の変更を求める場合などに行っていただくもので、令和7年11月末時点で822件の申請があり、申請のうち569件（約8割）が重度と認定されています。認定調査では、本市の認定調査員が聞き取りを行います。日常生活でできないことを話すことが恥ずかしいために要介護度が下がってしまう場合もあるため、本人同意のもとで、家族やケアマネージャーもしくはご近所の方や友人等に同席していただくことが望ましいと考えております。



- ・要介護認定の審査手続きについて
- ・単身高齢者世帯への支援について

## 単身高齢者世帯への支援について

**Q** 高齢者が自分1人の食事を作るのは手間も出費も増えて栄養も偏る。配食サービスが可能な弁当屋さんと連携して単身高齢者世帯の支えができないかお伺いします。

**A** 本市では、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯などを対象に食の自立支援事業として配食サービスを実施してきましたが、平成30年6月の利用を最後に利用者がいなくなったため事業を休止し、再開の予定はありません。地域の弁当店との連携による配食サービスの実施は、国からの交付金に上限枠が設けられており、大幅な拡充には一定の制約、財政負担が生じると認識しています。費用負担の考え方、対象者の範囲などを総合的に整理しつつ、地域の実情に即した持続可能な配食・見守り体制の構築に向けて、引き続き、調査研究を進めてまいります。



- ・市街化調整区域について
- ・第3次地域福祉活動計画について

## 第3次地域福祉活動計画について

**Q** 「多文化共生」や「赤ちゃんのゆりかご」を進める本市に必要な施策を盛り込む必要はないかお考えをお伺いします。

**A** 令和8年度から市庁舎内に外国籍市民の方々の支援窓口が増える予定であり、関係部署とも協議・連携を図りながら「多文化共生」に必要な施策を地域福祉計画にどのように明記していくのか検討してまいります。また仮称「赤ちゃんのゆりかご」については、今年度に熊本市・慈恵病院、東京都・賛育会病院等を視察し、先進的取組を報告書にまとめる調査研究事業を実施しているところですが、市民の方々の十分な理解が大切となるため、どのような啓発等が必要で有効なのか、取組等のあり方を研究しつつ、どのように明記していくべきか検討してまいります。



新緑未来 代表

布田 拓也 議員

20年後の泉佐野市を見据えた市民の声の活用  
のあり方について  
20年後の泉佐野市を見据えた教育人づくりへ  
の重点的投資について  
20年後の泉佐野市を見据えた住民自治と地域  
経済のあり方について



### 市民の声の活用のあり方

**Q** 日本は古くからシラス国と言われ、民の声を第一にした統治が行われてきた。現代の政治でも重要。デジタルやAIの活用で、より多様で正確な市民の声を把握できる。声の投稿を生成AIでまとめ、週次で公開するようなオープンデータ化する仕組みは作れないか。

**A** AIを活用した市民の声の集約及びオープンデータの仕組は、行政の効率化と政策形成の高度化の双方に資するものであり、透明性向上に有効な手法であると考えます。しかし一方で、技術的な精度、個人情報保護やセキュリティの問題、また職員の確認体制やシステム導入にかかる費用的な問題など、慎重に検討すべき課題も併せ持つことから、他自治体の事例や国の動向、技術の成熟度などを見極めながら研究してまいりたいと考えています。



岡田 昌司 議員

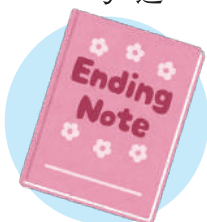
・終活支援について  
・災害浸水対策について  
・福祉タクシースーについて



### 終活支援について

**Q** 身寄りのない高齢者の方が、住み慣れた地域で最後まで安心して生活ができるよう、自治体が必要な情報を把握し、事業者などへの「伝達役」を務める「エンディングプラン・サポート事業」の導入について問う。

**A** 本市では、人生の最終段階について考え、ご自身の医療・介護に関する希望や葬儀・相続に関する思い、親しい方の連絡先などを記入していただく「メッセージノート」を配布しております。まずは、このノートの活用状況や終活に関する講座の充実を図るとともに、市民ニーズの把握と課題整理に努めたいと考えております。その上で、個人情報保護や費用面などの観点を踏まえながら、高齢者の不安軽減と尊厳のある暮らしに資する施策の一つとして、エンディングプランの支援や情報登録のあり方について、調査研究を進めてまいりたいと考えております。



中藤 大助 議員

・空き家対策について  
・障がい者対策について



### 空き家対策について (1)「特定空き家」の対策と管理方法について

**Q** 「空き家」が昨今増加する中、倒壊等の危険性など将来的に重大な支障を及ぼすだろう「特定空き家」への対応・対策についてお尋ねします。

**A** 本市では市の調査により「危険度が高く解体の必要性が高い」と判断された空き家等で、市の練り返しの助言指導に全く反応のない空き家等に対し、専門家等で構成される「泉佐野市空家等対策協議会」で審議し、特定空家等の指定を行っております。法に基づく特定空家等への措置は、登記・戸籍・税情報などの公的情報のほか、必要に応じ司法書士会に業務委託する等により所有者を確知後、施行しています。特定空家等の解消は、まちの様相を変える効果があることから都市基盤整備の一環と考えており、今後とも積極的に取り組んでまいります。



## その他の一般質問

中庄谷 栄孝 議員

・国勢調査について  
・泉佐野市の観光促進について  
・塾代助成事業について



中村 慎作 議員

・これまでの教育施策を踏まえた市独自の教職員加配について  
・旧市街の将来ビジョンと地域課題への対応について



※議員間の申し合わせにより、個人質問は年間2回まで希望の号に掲載し、それ以外の号は質問項目のみを掲載しています。

## 意見書・決議

5件の意見書・決議を採択し、関係機関へ送付しました。

**脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書の提出について**

全会一致

(送付先)衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣

危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援を求める意見書の提出について

全会一致

(送付先)衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣

重点支援地方交付金の拡充と地方自治体への迅速かつ丁寧な支援を求める意見書の提出について

全会一致

(送付先)衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣

地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について

全会一致

(送付先)衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣

中国駐大阪総領事による不適切な発言を非難し謝罪を求める決議について

賛成多数

## 選挙管理委員会

今年由市議会議員一般選挙が5月10日告示、17日投開票日と決まりましたが、これを決めたのは泉佐野市選挙管理委員会です。

選挙管理委員会は各団体における選挙を管理するために設置される、行政委員会のひとつです。行われる選挙に関して公正、公平に行われるように管理しています。

## 豆知識



## 市議会を傍聴しませんか

### ◆3月定例会の日程表◆

3月 2日 (月)	本会議	施政方針に対する質問
3月 3日 (火)	本会議	
3月 4日 (水)	本会議	
3月 5日 (木)	総務産業委員会	
3月 6日 (金)	厚生文教委員会	
3月 9日 (月)	予算特別委員会	
3月 10日 (火)	予算特別委員会	
3月 11日 (水)	予算特別委員会	
3月 12日 (木)	予算特別委員会	
3月 13日 (金)	関空りんくうまちづくり特別委員会	
3月 16日 (月)	りんくう総合医療センター対策委員会	
3月 17日 (火)	行財政委員会	
3月 19日 (木)	本会議	
3月 23日 (月)	本会議	

※午前10時開会予定です。ただし、13日・17日につきましては、午後1時開会予定です。

なお、日程は変更することがあります。

※手話通訳をご希望の方は、議会事務局までお問い合わせください。

## 表紙の写真



12月2日、NPO法人多民族共生人権教育センター事務局長の文公輝氏を講師に迎え、「泉佐野市の多文化共生について」をテーマに本市議員研修会が開かれました。

## 市議会だより編集委員

西野辰也	日根野谷和人	向江英雄	布田拓也	委員 大庭聖一	副委員長 中庄谷栄孝
------	--------	------	------	------------	---------------